

田島中学校区 学校適正配置検討会議（第11回） 会議録

1 日 時 令和4年3月22日（火） 午後7時から

2 場 所 田島中学校 LL教室

3 出席者

（委員）

東 智則委員、岩井 徳次委員、大倉 裕子委員、荻田 真司委員、鍾田 昭子委員、
亀井 孝美委員、北山 泰利委員、福田 成隆委員、舩井 静香委員、光山 政浩委員
（学校）

塩見 貴志（田島中学校長）、佐野 仁志（田島小学校長）、木村 幹彦（生野南小学校
長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教
育担当部長）、上原 進（学校環境整備担当部長兼生野区役所こども未来担当部長）、花
月 良祐（総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、樋口 義
雄（総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）、大川 博史（地域活性化
担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、三宅 俊之（総務部学事課
学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理）、
二川 康裕（総務部施設整備課老朽対策担当課長代理）、坂井 大輔（学事課担当係
長）、竹中 一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教
育政策課担当係長）、渡辺 久志（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務
局総務部教育政策課係員）

（傍聴）0名

4 報告

- ・ 通学路の安全対策について

5 その他

- ・ その他（田島小学校のガス式空調、エレベーターの管理について）

6 議事要旨

【通学路の安全対策について】

（1）行政からの説明

（説明者：三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課
地域活性化担当課長代理）

（報告資料1に沿って説明）

・こんばんは。教育委員会事務局兼生野区役所の三宅と申します。どうぞよろしくお願
いいたします。通学路の安全対策につきましては、令和3年12月3日の安全対策の専
門部会、それから令和4年1月26日の検討会議がございまして、それ以降の状況につ
いて報告させていただきます。まず、田島中学校正門前の交差点についてなんですけ
ど、横断歩道と歩行者用信号機の移設についてでございますが、これにつきまして沿
道等、関係先との調整中ということでございまして、1日でも早く対応できるように
まあ引き続き沿道等の関係先との調整を進めて参りたいと思っておりますのでよろしく
お願いしたいと思います。それからあの、東西方向の歩行者用の青信号なんですけど、
これまでの13秒でございました。それでは、交差点の西側からちょっと渡ることはで
きないということは行政の方も承知しておりまして、府警本部の方にその状況を伝え
て、青信号を延長するよう依頼してきたところでございます。府警本部と所轄警察の
方で調整されて、3月14日からですね、時間延長の方はもう実施されてるというこ
とでございまして。なお時間延長につきまして、朝の7時半から8時半の通学の時間帯が
対応されるということで、13秒から約倍の25秒に延長されております。なお、警察
の方で通学時間帯に学校の正門前の交差点とですね、一つ、北西方向の北側の、6番
の田島新温泉がある交差点ですね。そちらの方で立っていただけるということになっ
ておりまして、始業式から1週間は、土日を除いて毎日立っていただけると、2週目
からについてはちょっと週3回程度ということになるんですが、立っていただけると。
あと5月以降なんですけど、それについてもまあ定期的に立ち番をしていただけると
いうふうに聞いております。ただちょっと事件等があった場合には対応できない場合
もあるということは承知をしていただきたいと思いますということでございました。続きまして、
中学校北側の側溝にグレーチングを設置するという事になっておった件なんですけど、
工事を実施せなあかん箇所っていうのが、実はございまして、そこについては23
日、明日からですね、その工事の方を実施して設置していくということでございまし
て、あとあの工事を必要としない箇所、要するに蓋を置くだけの場所につきましては、
明日、23日に設置予定としております。もし、雨の状態が良くない場合でしたら25
日になるかもしれないということは有り得るということでございます。それから、中
学校北側、北東の所ですね。北側のガードレール内の塗装の荒れの補修につきましては、
荒れの目立つ部分を3月末までに補修ということで聞いております。それから中
学校北側、東端のガードレールの改修と横断歩道の設置につきましては、3月9日の
時点でガードレールの改修の方は済んでおりまして、横断歩道の設置につきましては、
3月19日土曜日ですね。施工されております。また、通学路上に物とか自転車が置か
れていて、通行に支障のある箇所っていうのも対応ということで依頼を受けていた分
なんですけど、これにつきましては3月2日にですね、工営所の方から道路使用適正
化の指導を行っております。その際に、区役所の方も同行しましてですね、4月から
小中一貫校になって通学路になるので徹底してほしい旨を伝えております。自転車に
関しましては北側のマンションですね、こちらの方については、道路使用適正化のチ
ラシの方を各戸配布の上でですね、管理会社の方にも適正化担当から連絡をしていた

だいております。なお3月12日、先週の木曜日なんですけど再度指導していただきたいということで依頼がございましたので、工営所に、再度お伝えしましてですね、工営所は3月18日の日、翌日ですね、金曜日に再度指導に入ったというふうに聞いておるところでございます。それから3月17日にはそれ以外にもちょっと、田島地域の村中から、こう中学校北側に出る道路。道路に出る際ですね、横断歩道の方渡ることになるんですけど、自動車の運転手等に対して、子どもが横断することが分かるようにしてほしいと、例えばカーブミラーの設置とか、巻き付けシート対応などを検討してほしいという要望がございました。工営所に確認しましたところですね、カーブミラーについてはどうしても死角があるということで、特に人や自転車というのは道路の端の方を通りますので、死角に入ってしまう可能性があるということで、運転手がカーブミラーを過信してしまって、よく見ないでカーブミラーだけを見てこう曲がろうとしたときに死角に入っている人とか自転車と接触する事故っていうのがよく起こるということがありましてですね、最近はカーブミラーの設置っていうのは、もう行っていないということでございます。巻き付けシートの対応とかですね、その他対応できる事がないか、今後、検討してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。それから、田島新温泉から田島中学校までの間の斜めの道路ですね。これについて外側線が薄い状態があると。通学路では無いんですけど中学生は通行するので対応してほしいという要望もございました。工営所の方に確認したんですけど工営所としても現地の方は確認したんですけど、塗り直しが必要なほど薄くはなっていないと考えているということでして、薄くなってきたらまた対応させていただくということでございました。前回の検討会議以降の報告については以上になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

(2) 意見等の概要

(委員)

- ・はい、ありがとうございます。ただ今の報告についてご質問等ございますでしょうか。

(委員)

- ・すいません。

(委員)

- ・はいどうぞ。

(委員)

- ・すいません、えっと、質問なんですけど、中学校北側の側溝にグレーチング。グレーチングって何なんですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・あの、溝に蓋をするっていう。

(委員)

- ・蓋のことを言ってるんですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・そうです。はい。

(委員)

・で、工事っていうのは、グレーチングの作業っていうのは、工事を必要としない箇所なんですね。だから日によったら1日で終わるような、こと。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・そうですねあの、必要としない部分についてはもう、置くだけです。はい、明日置く所は置いていくという形で対応しまして。

(委員)

・で、工事っていうのは、えっと、何になるんですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・蓋をするために溝の中に土台と言いますかね、モルタルでちょっと固めるような、その深めの台がない部分がありまして、それをまあ工事というほどではないんですけど、固めた形にして。で固まったらそこに置くというようなことをやる予定になっております。

(委員)

・で、それはちょっと時間が、数日かかるかもしれない。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・まあそうですね。はい。

(委員)

・それプラス、ガードレール内の、塗装の荒れ補修っていうのは、道路のボコボコみたいな。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・そうですね、ちょっと荒れがひどい所については補修をするということで聞いております。

(委員)

・それが3月中には終わる。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・そうですね。はい。

(委員)

・あの、4月の始業式、入学式前に、いきいきの子ども達の1日から行く形になるんです。なのであの、8日スタートとか入学式スタートではなくて、いろんなことを本

当に1日に、言ったらこうみんなと一緒に登校してくる様子よりも先に、その子たちにとっては、そういう、登校してくるという状況がありますので、1日以降はそういう事になる、なるんですよ。中学校の方にいきいき教室通うっていうことになっていってますので、対応お願いします。また警察の方に、前の信号と、田島温泉の所にも立っていただける。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・そうですね、はい。

(委員)

・はい。なるべく最初のうち、学校の前の、信号の所をあの、秒数増えて、ちょっと渡りやすくなると思うんですけども子ども達一度も、その西側の方から、ファミマの方から来た子たちとか、まあその信号をうまく渡るっていうのはその秒数になってからのこう、練習もできてないなか始まりますので、子ども達がそうやってルールも守りながら渡れるようなことは、大人の方でちょっとしっかり見ながら、子ども達にしっかり、そういうふうに渡れるようにっていうふうに、していく必要がありますので、また沢山の目で見守っていく必要がありますのでよろしくをお願いします。

(委員)

・はい、ありがとうございます。他にご意見ご質問等ございませんか。

(委員)

・すいません、もう一個すいません。いいですか、すいません。線が薄くなってるっていう話の中で、結局塗りなおし、あの学校の前の交差点と、そこはまた変わるかもしれないからそこは、横断歩道は塗らないんですかね。それと、もう一つ向こう側の、横断歩道ありますよね。あの、信号ないこの、向こうといたらあれなんですけど、学校をこう。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・北側からこう下りてくる道路ですかね。

(委員)

・北側からなんですかね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・えっと6番の信号から東の方に入って、次、南に下りてくる、道路。

【場所を地図で確認し、中学校前交差点から南東方向へ少し下った信号のない三叉路であることを確認】

(委員)

・すいません。えっと、こういう。あの、そこそこ。そこもめっちゃめっちゃ薄くて、横断歩道結構目立つぐらい塗りなおしてもらった横断歩道もあるけど学校のまわりと、そのいっこ遠い方のほうは、めっちゃめっちゃ薄いんは薄いんですけど、そこは基本的にあ

の今回のまあ、信号が移設になる時期にも関係なく、そこはそこでずっとあるとこなので、もうちょっと濃くといいますか、学校の前なので、していただきたいですし、学校の前も今どんな風な状況まできているのか、その調整中ということですが、それがまあ済むならば待ちますけれども、それも全然未定なのであればその学校の前の所、本当にめちゃ薄くなっているの、そこに関しては、塗ってほしいなと思っています。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。今おっしゃられた交差点の南側の所について薄くなっているということで、今回の通学路の対応ではちょっと入ってなかったんですけど、そういう要望があったということで警察の方にもお話をさせていただきますし、先ほど言っていたような横断歩道の移設の話がありますので、その辺の状況を確認してという状況やと、塗りなおしてない状況やとは思いますが、ちょっとその辺も含めてまた警察の方とね、話をさせていただく。

(委員)

- ・できそうなきにでもやっていただくという形で。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・はい。ちょっと長引きそうでしたらいったん塗る方向でね、考えていただけないかいうことはちょっとお話していきたいと思えますので、はい。

(委員)

- ・はい、まああの、開校してから4月1日以降もですね、通学路の安全というのはもうずっとずっとの課題ですので、まあそう言った意味で日々チェックと更新をお願いしたいと思います。特にまあ新田島温泉と正門の前の斜めの道っていうのは、中学生、やっぱり通りますし、まあそれに引きずられて小学生も通りかねないんでね、そう言った意味でも、あの日々ね、安全が担保されるようにと、言うふうに思いますので学校にちょっと、今後もね、ピント合わしていただきたいなと思ってます。他、ご意見ございませんか。はい。

(委員)

- ・うちはあの、生野南ではですね、15名一応配置は終わってるんですけど、ユニフォームはいつ来るんですかね。ユニフォーム。旗とか帽子とか。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・3月30日に、ギリギリになってしまって、すいません、納入ということになってますので、またあの、入り次第すぐに連絡させていただいて、会館とかですね、言っていたところに、持っていかせていただきたいと思ってますので、どうぞよろしくお願ひします。

(委員)

- ・どうぞよろしく申し上げます。

(委員)

- ・ありがとうございます。他に無いようであれば、はい、では次にまいります。はい、次にその他の項目といたしまして田島小学校のガス式空調、エレベーターの管理について事務局より説明をお願いいたします。

【その他 田島小学校のガス式空調、エレベーターの管理について】

(1) 行政からの説明

(説明者：三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

(その他資料に沿って説明)

- ・はい、それでは、田島小学校のガス式空調、エレベーターの管理についてご説明をいたします。右肩に、その他と記載のある資料の方をご覧くださいませでしょうか。まず1番の意見交換の経過についてでございます。1月26日に開催しました検討会議におきまして、田島小学校の校舎管理について、管理の考え方をご報告いたしました。ガス式空調及びエレベーターについては記載しております通り、現時点で学校や授業等で使用予定がない事から、使用できない旨のご説明をしましたところ、委員の方からですね、一旦地域に持ち帰り議論検討したいとのご意見がございました。その後、地域においてご検討いただいた結果、ガス式空調、エレベーターともに、災害時に使える状態にしてほしいというご意見をいただきまして、行政内部において検討を行ってきたところでございます。2番の管理の方向性についてでございます。田島小学校の校舎については、昨年3月の検討会議において、校舎を教育委員会で管理してほしいとのご意見を踏まえまして、教育委員会が行政目的がない普通財産として、次の活用が決まるまで暫定的に管理を行うこととしております。小中一貫校に必要な校舎を田島中学校に整備することから、田島小学校の校舎を授業や教育活動等で恒常的に使用することは無く、また校舎整備等については国の交付金等を活用しながら行っておりまして、将来的に小中一貫校の校舎が老朽化した際に改築等に適切に実施するためには、学校用途の行政財産から普通財産に変更することになっております。管理にあたりましては、ガス式空調、エレベーターとも災害時に使える状態にしてほしいとのご意見があったことを踏まえましてですね、今後の生野区におけます避難所としての指定やまちづくりの観点から将来を見据えた具体的な活用方針の検討に向けて、連携の方を図りながらですね、次の活用が決まるまでの間につきましては、ガス式空調やエレベーターの機能を維持できるように対応してまいります。説明については以上であります。

(2) 質問等の概要

(委員)

- ・ありがとうございます。ただいまの報告につきましてご質問等ございますでしょうか。

(委員)

- ・はい。

(委員)

- ・委員どうぞ。

(委員)

- ・すみません。田島小学校の方はとりあえずガス式空調とエレベーターはそのまま使えるってことなんですけども、再度確認で生野南小学校の方は、管理、運営会社が決まるまではそのまま使える、と考えてよろしいのでしょうか。

(櫻井生野区副区長兼生野区教育担当部長)

- ・副区長櫻井でございます。生野南小学校につきましても本日、事業者公募を開始したところでございますけれども、事業者が決まるまでの間、きっちり行政の方が管理してまいりますので、よろしくお願ひします。

(委員)

- ・そしたら、空調やエレベーターは、とりあえずそのまま使えるということで。

(櫻井生野区副区長兼生野区教育担当部長)

- ・はい、使えます。

(委員)

- ・ありがとうございます。他にご意見等ございませんでしょうか。

(委員)

- ・今、大体ずっとペーパーの方を読ませていただいたんですけども、大体、この書いてあるようにですね、もう変更のないようにひとつ、よろしくお願ひしていきたいなところ思っております。後はですね、この、いつも申しましてるようになりますね、いずれまた災害が起こることになってきておりますので、その時は、ガス電気あるいは空調全部全階で使えるように、とはお願ひした通りになっておりますので、ありがとうございます。そしてですね、また地域でですね、いろんな行事、大がかりな行事をする時にはですね、小学校を使用していきたいということに地域の意向もございまして、その点もちょっと今後ともよろしくお願ひしていきたいと思っております。以上です。

(委員)

- ・ありがとうございます。他何かございませぬでしょうか。それではちょっと一つ私からですね、その他のこの、はい、下からですね、3行目ですね。まあ避難所としての指定やまちづくりの観点から、将来を見据えた、具体的な活用方針の検討に向けて連携を図りながら、いうふう書いてます。委員との話とも重複するんですけども、まあまずは防災拠点として確保していただくというのは、これはもちろんでございます。その中でまたガス式空調というのはね、またエレベーターにしろですね、やっぱりちょこちょこ使っとかないとね、物のね、何かメンテナンス上必要なね、管理がなされないと、まあ普段からやっぱり使う方がね、いいと思います。被害の時になっていざ使おうと思ったら、いや動かないとかね、そういう事ってやっぱりいろんな災害

でよく聞く話ですので、そういった意味では、なにかそういう避難訓練とかですね、そういった防災拠点づくりとかですね、そういったのも踏まえてですね、そういった地域行事でも、まあ前向きに開放していただきたいと思っています。また将来を見据えた具体的な活用方針の検討についてなんですけれども、これにつきましてもですね、まあまあいつか考えようかというものではなくて、といってもあのね、1ヶ月2ヶ月で案がポコポコ出てくるようなものでもありませんのでね、長い目、中期的長期的な視点をもってね、ご検討をしていただく、また継続的にご検討いただくというそういうふうな仕組みというか、場というか、そういうのを作っていただきたいなと思っております。もちろん希望としてはこの校舎がですね、地域の方々はもちろんなんですけれども、生野区全体を含めたね、児童子ども達もね、普段から使えるような、そういうふうな場であってほしいというふうに思いますので、くれぐれも、なんていうんでしょうね、廃墟感のあるようなそういう佇まいだけは決してね、そういうふうにならないようにね、今後とも教育委員会の方もそうですけれども、区役所の方にも、検討する、継続的な検討をお願いしたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

(委員)

- ・これは余談になるんですけれども、今とりあえずこの学校が縮小していくということはですね、とりあえず町が小さくなると、縮小していくという形になるかと思えます。それでとりあえずもういっぺん活気を取り戻すということの願いからですね、今、とりあえずやらんでもいいようなことをやっておりますけれども、オンデマンド、ライナーとなるべく存続できるように力を入れております。そしてですね、将来この8号線も、とりあえず先生方をお願いをしてですね、引いてもらって。また内環から西側、行政発展、あるいは商店、あるいは零細企業、小企業の方々が戻ってこられるような町にしていきたいなど、こう思っております。
- ・そして、私の願いは、取りあえず田島小学校を存続、そのまま置くということはですね、取りあえずもっぺん田島小学校を復活させたいということが私の願いであります。そして、これはどうしても後々につないでいきたいなど、こう思っておりますので、今後ともよろしく願いしたいと思えます。よろしく願いします。

(委員)

- ・ありがとうございます。他、御意見ございませんでしょうか。

(委員)

- ・すいません。

(委員)

- ・お願いします。

(委員)

- ・幾つか、よく分からないんですけど、ガス式空調やエレベーターとかは、災害時に使える状態になるってことなのか、災害時以外はどんな感じなのか、災害時だけなんかひねるような感じなのか、なんかどんな感じなんかなってというのはどんな感じなんで

しょうか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・一応、今までどおり点検を行いますので、いつでも使えるってということにはなりません。

(委員)

・非常時だけなんかそういうの使えるように

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・栓開けてとかそんなんじゃないかと

(委員)

・っていうのではないし、メンテナンスもしていただきながら、いろんな災害は急に起こりますし、さっき委員の話やったらなんかいろいろ行事等でも使うこともあるかもしれないってということに関しても、いろいろ常に使える状況にはなるってことで理解してます。

・あとちょっと話変わるんですけど、環境部会で最後に話いろいろしていただいたような点で、田島小学校のグラウンドをいろいろこれから変えていくことになるんだと思うんですけども、桜の木のあった端のアスレチックの辺りとかも全部フラットにするとかしないとか、いろんな意見が前出たまま終わりになっていて、その辺も含めてそれ以外のこともそうなんですけど、いろいろこう意見また聞いてみたいな感じで終わってますけれども、それはまたこれから予算立てて再来年度以降ですかね、工事されるってということではあるけれども、結局どういうふうに決まってどういうふうに流れていくかっていうのを、もう検討会議はない、部会もないんでしょうか。なんかそれは結局12月にしたまま部会は終わっていて、子どもたち4月から部活動で使いますね。で、まだネットはできない、再来年度以降しか工事はないってことなので防球ネット等もまだできない状況で使い出すけれども、なんか環境部会で最終、話したところで結構何が決まったことはなくなんか終わったように思っていたんですけども、それはどういうふうになるんですか。

(坂井学事課担当係長)

・すいません、以前、環境部会と1月26日の検討会議で御報告させていただいたこの図面、ありますよね。プール撤去して防球ネットもやります、学習園であったりとか、かまどベンチもつけますって大きい方向性自体は検討会議で御説明、御報告もさしてもらって、一定大きな方向性自体は決めさしていただけたのかなあって認識をしています。

・令和4年度設計で令和5年度工事って形でスケジュール感についてもお示しをさしていただいたんですけども、確かにアスレチックの跡、どういう形で残しておくのかかっていうその細部についてはいろんな御意見、またいただけたら検討しますってことで終わってたっていうふうに認識しています。

・令和4年度設計していく中で、この間の環境部会でも議論もあったとおり、なかなか

やっぱり設計終わってから要望出てきたときに対応できるもの、できないものっていうのはあるのかなあっていうふうに認識しているので、検討会議自体は終わってしまうんですけども令和4年度設計にこういうところが盛り込めないのかとか、こういうふうにしてほしいみたいな要望、御意見いただけるのであれば、早い段階で学校を通じてでも結構ですし、御意見等いただけたらできるものについては対応してまいりたいというふうに考えてます。

(委員)

- ・この環境部会につきましては、一つはやっぱりスパンが1年ずれてると思うんですよ。これから設計段階に入られるわけですので、大きな方向性は決まったということでもよろしいですけども、その後ですね、できれば何かね、この委員会、検討会議の委員、それから特にこの環境部会に関してはこの1年さらに延長するわけですから、延長するとかそこから設計段階に入るわけですから、そういった進捗また経過報告というのをこの委員に対してちょっとお示しいただきたいと思うんですよ。いつの間にか決まってきたとか、なんか決定通知だけ、決定した内容だけが来たとかね、そういうふうなことですとね、先ほどおっしゃったようなこともあります。それもなかなか決定までね、決定してから言おうかなっていうふうな感じにどうしてもそういったことが多いと思いますんでね、そうではなく進捗を継続的に、定期的にちょっと出していただけたらなと思ってます。それがメールなのかお手紙なのか、ちょっとそこはまた議論ですが。いかがでしょうか。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・生野区役所の大川です。今おっしゃっていただいている件、検討会議はこの3月末までになってますけども、第2施設に関する工事とか状況ですね、その辺教育委員会と連携しながら検討会議の委員としての任期はこの3月末までですけども、皆様のほうには随時情報提供できるような形で調整していきたいと思っておりますので、よろしく願います。

(委員)

- ・はい、どうぞ。

(委員)

- ・会議に出て、意見して、最後どうなったのか分からなくて、でも次は決まりましたみたいなことになって、今回も予算までに、予算、設計等決まってから変更もできないっていうお話なので、いろんな意見こないかも12月も出て、全部つぶして全部フラットにされるのではなくて、そういう今、子どもたちの遊んでるような部分は、いろいろ学習園等を作っていて子どもたちが来るような場所もつくるのであれば、ちょっと子どもたちが楽しめるような部分にしてほしい。何もかもフラットに、何もかも整地してしまうようなことだけではないんじゃないかっていう意見がほぼ大半やったんじゃないかなと思ってるので、そこに対してもいろいろこんなふうにしてほしいみたいなことも出たけれども具体的ではなくて、意見は聞きましたみたいなことで終わって、じゃあ果たしてそんな中で設計をされるとなれば、結局は盛り込んでいい

ただけない。で、またその後でこんなふうにしてほしいってことをずっと言っていたのにやっぱり盛り込まれてないってことを言ったら、でももう設計してるんでみたいな話にもなる。それはどうしていったらいいのか分からないですけども、もう口出す余地がないってことなのか、さっきの坂井さんの話やと個人的に学校を通してでも言ってくれみたいな話ですけど、そんなもので何か私たちの希望がなんか通るとも思えませんし、そういうやっぱり聞いていただく場はあるのかなのか、結局もうこないだの部会で終わってしまったのか。ただ私たちは時々その経過だけを聞かされるのか、ちょっとよく分からないです。

(委員)

- ・いかがでしょうか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・すいません。今いただいた御意見、もちろんごもっともかなと思いますんで、どういった対応できるんか、今この場ですぐどうするっていうのはちょっと今よう言いませんけど、対応考えたいと思いますのでちょっとお時間いただけますでしょうかね。

(委員)

- ・なんかこれもこちらからの、なんか聞いて初めて答えていただけることに、みたいになって、なんかこないだの感じで。なんか検討会議のときもそれで終わってしまっただけに話も出ませんでしたし、こちらから聞いていったら、そうですねみたいな話でいろんなことがまだまだほんとに決まってない。これが果たして田島小学校だけの問題じゃない部分で、両方の子どもたち、中学生も使っていく場所として検討していくことで、もうちょっとこちらから言っていくようなことじゃなくて、ちゃんとそこ考えていっていただかなければいけない部分やったんかなと思うのに結局、それも一回は言ってますね、絶対。環境部会もなんかあれで終わりみたいになってますけど、どうなってますかっていうのは安全部会とともに言ってますし、後でメールとかね、そんなだけで連絡されるようなことでもないですし、でも結局その辺もちゃんとできてない部分で、はい、これで検討会議終わりですじゃない、ほんとにまだまだそうやってあるんじゃないかなと思うので、またこれを持ち帰っていただいて、これからの対応になるっていうことなんであれば、やっぱりちゃんと考えていってほしいです。それと、もうついでに言うと、小運動場の使えない状況っていうのを、小運動場の工事の日程みたいなものを教えてくださいっていうのもずっとお願いしていて、なかなかそのスケジュール出ませんっていうことで、ずっとお聞きしてて、なんとなく大工事になることなんやっていうのはほんとに認識しないで、人工芝等々、上に遊具等が乗るっていうことで大変やっていうことで聞いていて、ちょっとずつ分かってはいくんですけども、全体に対してそういう説明ないですし、最初の話では、ほんとに夏休みに工事したらできるから大丈夫ですって、人工芝したとしても大丈夫ですって言われてるような話から、こんだけ全然話が、全然私のイメージとは違っていたのですが、小運動場の工事は結局そんな4月からもうずっとかかるような、何か月にも及ぶよう

な感じでなる感じになのか、結局どういう感じになるのかっていうのをまだ聞けてはなくて、またお示ししますということで終わってるんですが、どんな感じなんでしょう。なるべく早く子どもが使える状況を作っていただきたいなっていうことです。

(委員)

- ・この2点についていかがでしょうか。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・サブグラウンドの件なんですけども、具体的には芝生化っていうことで設計をやり直したっていうことは以前に御説明さしていただいたとおり、設計を手続き的に一からやり直しまして、これから改進的にうまく処理できるのかっていうのを建設局、協議事項になります、建設局と今協議中でございます。
- ・その協議の中で一番大きな問題なのが、今回サブグラウンドについてはご存じのように新築校舎ができたあかつきに旧職員室とか、1階の校長室とかを改修していくっていう工事をしていくように予定しております。その工事をやるに当たってどうしても進入路が必要ということで、今の工事侵入門からサブグラウンドに向かって工事用の通路を作らせていただいて、それを利用さしていただいて順次改修工事を進めながら、最終的にはサブグラウンドの外構工事を進めさせていきたいという一応流れになっておるといことなんです、その詳しいところについては設計をやってる都市整備局、工事を担当してる都市整備局のほうの話によりましてどうしても夏休みをいただかないと工事ができないという御報告をいただいておりますので、ちょっと夏休み期間いただいて、できるだけ進捗は早くしたいものの2学期から使えるという形で実施していくという御説明を今、都市整備局からはいただいております。

(委員)

- ・すいません。ちょっと聞きますわ。それで、これ一体仕上がりはいつできるんですかね。この田島中学校の仕上がりは。それでね、もう一つ言いたいことは、ちゃんとこれ仕上がり、ちゃんと完成してから新学期を始めるということで、もう工事半ばで何で小学校も来い、中学校も来いと、何でこんな形になったんですかね、これ。これちゃんと完成してから来たらすね、どうだこうだ言うことないんですわ、これ。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・工事につきましてはですね、工事説明会でも御説明しておりますように今年の12月が完成予定の工期。

(委員)

- ・それはもうよろしいやん。だから、私が聞きたいのは、ちゃんと完成して、でき上がってから全生徒が登校したら一番ベターじゃないかということをお聞きしておるわけですか。何でこんなバタバタ慌ててるんですか。何も慌てることないように思いますがね、これ。違いますか。学校ちゃんと完成してから全生徒来るようにしたら一番ベター違いますか。どうでしょうか。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・新校舎のほうにつきましては、ほぼ完成ということで。

(委員)

- ・ いやいや、ほぼはよろしいやん。私が問うてることは、完全に完成してから生徒を全部新学期に入れると、小学校も、中学校も一貫校もしたらいいのと違いますかということ聞いてるわけですね。何でこんなバタバタバタバタ慌ててこういう完成半ばにこんなことになるんですかね、これ。

(委員)

- ・ すいません。あわせてちょっと今話の中で、二川さんの話の中で、改修工事、まだ職員室部分の改修が続くってということで、搬入口をまだ、搬入経路がいるんですよ。てことは、サブグラウンドのほうにまだそうやって車両が入ってくる状況と、その搬入経路がある通路があるってということで、大運動場は影響がない、そしてトラックとかそういう大きいのが入ってくる搬入口としては、そこはグラウンド側が今ずっと入ってくる、あのそこじゃないところになるってことですか。ちょっとほかの影響が、搬入経路の話が出たので、なんかどんな感じなんですか。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・ ちょっと詳しく工事等なりについては私もちょっと都市整備局の人間じゃございませんのでうまくお話できないんですけども、大グラウンドにつきましては授業に影響のないように開校とともに引渡しをさせていただくという予定で今作っております。ただ、ちょっと手直しとかがありまして、部分的に一部やり替えとかを長期期間とか学校の都合をちょっと調整させていただいて、部分的に手直し部分の改修工事とかっていうのは多分残ってこようかなというのを聞いておりますので、完全に引渡しっていうところまではちょっとまだ決まっておきませんので、そこはちょっと御理解いただけたらなあと思います。

(委員)

- ・ 今使ってる、工事業者の方の使ってる、あそこは何門になるんですかね。西？

(委員)

- ・ 南門。

(委員)

- ・ 南門。南門は、もう今これからも使うってことですか。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・ さっき言いましたようにステップ4ということで、4月から12月間は最終的な改修工事を実施していきます。ですので、その南門はどうしても工事車両の進入門になりますので、しばらくは使わさせていただくということになります。

(委員)

- ・ そこからサブグラウンドに向けて入る、そこはじゃあずっと外圍的なものがあるって。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・ そうです。

(委員)

- ・ その外圍いの

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・よろしいですか。前回の検討会議のときに、その今後の工事予定ということで、その他資料でつけさしていただいています。ちょっと字がつぶれて見にくいんですけども、大まかなスケジュールと2枚目に前から引き続く教室改修とかサブグラウンドの関係、それに伴ってどの範囲を運動場に制約がかかるかという部分、赤い囲いで示していますので、またちょっと今ここで御覧いただいてもいいですし御覧いただけたらと思います。

(委員)

- ・でも、ほとんどの方は分からないですし、なんとなく聞いてたことはあったけど、でもプラスどれぐらい結局車両入る状況なんかとか、そんなのはやっぱりちょっとイメージができていなかったの、そこを避けながら、そっち側じゃないほうから大運動場に入って遊んだり是可以するということですね。南門のほうは外囲いあるから、そこは1階はずっと外囲いしてるんですよ。1階の校舎の部分を外囲いで、そこには入れ、サブグラウンドとその南門のこの搬入口に行かないようになっている状態で、一方通行でずっと、今の職員室側はずっと体育館側を通りながら行けば大運動場のほうに出られて、小学校とかは新校舎からそのまま大運動場のほうに、こっちは外囲いとか入れないようになってて遊べるみたいな感じてことですよ。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・ちょっと説明上手にできないんですけども、どうしても南門からの工事侵入門から、さっき言いましたように小グラウンド、サブグラウンドのところは工事用の通路を設けさしていただいて、そこに安全用の仮囲いをつけさしていただいてサブグラウンドまでのアプローチをさしてもらおう。その間の運動場のところの出入りについては、南校舎のほうは非常に大運動場から回っていただくのがちょっと難しいような状況にはなりますので、一旦、新校舎のほうに渡っていただいて、新しくできる下足場ですね、下足スペースを回っていただいて、体育館の間のところを回っていただいて大運動場に入ってもらおう、そんなちょっと通行過程になります。

(委員)

- ・中学生は自分たちの下足箱からずっとこうグルッと回ってって感じで

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・そうです、そうです、体育館側から。

(委員)

- ・小学生は新校舎に渡って。1階の連絡通路は結局あれですね、車両搬入指定してたから、1階はつながりません、まだ。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・ガードマンを立てて交通整理をして、子どもたちに影響しないようにさしていただく予定です。

(委員)

- ・じゃあ一応、1階は

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・使えるという考え方。だから、校舎の中は基本的に子どもさんに影響のないように工事は改修工事の入るところしか入りませんので、もちろん通路を作っていたところ作業員を立たしていただいて改修工事の場所に当たると、そんな交通ルートを考えてます。

(委員)

- ・改修工事のことは分かったんですが、やっぱり夏休みに小運動場の整備になるっていうことで、できたらほんとは、せつかくもう4月、5月、6月、7月全部を使えなくなるんだからその間にできるだけ早く小運動場の整備もしていただけて、例えば2か月もうフルでやっていただいて6月、7月ぐらいから使えるとかそんな状況になったらいいなって思って、少しでも使えない期間が少なくなればと思っているのですが、やっぱり夏休みにするんですか。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・どうしてもね、1階の職員室と隣の放送室、校長室、あるんですけど、そこがちょっとコンクリート壁になってましてね、それを解体するのにかなりの音が出るということなんで、やっぱり子どもたちに相当の影響を与えるので、そこは休業中に音を出す工事はやっていきたいというのが都市整備局からのちょっと御意向ありましたので、もうどうしても工程上仕方ないんでという話はちょっと工程会議の方では聞き取ります。どうしても、やっぱり授業に影響するっていうのも大変、私も、学校としてもお困りになることだと思いますので、それはないように我々も対応していきたいなあと考えてやっています。

(委員)

- ・校舎改修のほうはもうちょっと早くそうやって、なんですかね、教室のリフォーム的な感じなんかなくていうイメージで捉えていたので、そんな音の影響もなく、ずっと4月から行うような感じで思っていて、そんな感じの音がいっぱい出るようなものとも思っていませんでしたし。そしたらもうそこは、私は人工芝を引くってことになって、小運動場を使えないし、なんかそうやって私たちがプラスアルファで言った部分でそれになってしまった部分があるのかなと思っていたんですけど、それじゃなくて校舎改修のほうはまだ夏休み期間使って、それをやるっていうことで、小運動場側にその外囲いがある、そういう場面では小運動場はやっぱり使えないっていうこと。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・資材をちょっと置かせていただくというような予定で考えてますので

(委員)

- ・じゃあ小運動場は使えない状況がスタートやったってことはもうもともとの。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・スタートでもないんですけども、やっぱりサブグラウンドのほうの改修の設計の仕様が変わりましたので、やっぱり工程上そこは変えて、いかなかったということになりましたので、学校のちょっと今お力を借りてできるだけ改修工事を先行的に、すご

い早いペースで改修しておるんですね。もうほとんどが改修工事については完成しつつあって、学校さんに引渡しをしてるとこなんです。ただ残されるのがさっき言いました職員室前、どうしても引っ越しをしていただいてからの改修になりますから、やっぱり工程上、後さばきということでやむを得ない部分も。場所的な位置がちょうどサブグラウンドの改修工事とダブってしまった形になりましたね。

(委員)

- ・そうなんです。でもほんと委員のお話にもあるように、やっぱり4月の間からして、もうちょっと新校舎が建ち、そうやって運動場が使える状況になりますっていう言葉を信じてといいますか、工事が残るのは分かっていたんですが、こういうちょっとイメージではなかったんで、やっぱり小学生など来て、まず正門入って、スタートで新校舎まで行くのに迷うなあってほんとに思っていて、その外囲いの通路を通りながら、暗い通路を通りながら新校舎までほんとに行くんやなって思うだけで、やっぱりほんとにまだまだ建った、完成したっていうには程遠い状況で始まるんやなっていう部分がありますので。ほんとに工事頑張っていたらいいのも分かっていますし、その辺はほんと心としてはほんまに残念やし、子どもらもちょっと不安なスタートになる部分があるんで学校のほうにもお願いほんとしないと、ねえ、子どもたち、通路とか通って、やっぱり学校中いろんな特別教室行くにはいろんな場所に行きますし、たくさん結構散らばってるので、学校には工夫もしていただくんですけどもほんと案内がめっちゃ要るなっていうのもあるし、工事の方もまだまだそうやっていらっしゃる状況っていうのはちょっと思った以上のイメージやったので、なるべくまた子どもたち、もちろん混乱はするんですけども、ちょっとでもそれが早く影響ないように、夏休み等を使っただけでもそうなんですけども、早くまた使える状況ができればいいなっていう思う一心で、またよろしくお願いします。もうそんな感じじゃなく、気持ちよく、ああ、全部完成したなって感じで始められる、部活とか、ほんとによかったなあとは思うんですけど。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・イメージはね、ほとんど完成しつつあるイメージで御理解いただいたらいいんですけども、どうしても後改修があるということだけで、やっぱりどうしても改修工事がやっぱり残っちゃうっていうこれ致し方ないいうふうな、我々ほんとに思ってるところなんです。だからできるだけ子どもさんの日常の学校生活に支障の無いように、ある程度工事の中でも色々対策を練りながら進めさせて頂きたいなと思ってます。

(委員)

- ・よろしくお願いします。その点も併せて、私、直接知らなくて後で聞いたんですが、小学生の学級園が置けない状況から始まるというのも報告頂いたんじゃないかと別の方から聞いたりして、校長先生に確かめてという事で聞いて、工事事務所のある辺りとかまだずっとあるし、子ども等学級園無いんやなって思って聞いていって、「あ、そうか」と思ったんですが、中々本当に不十分な形でスタートになって、なので田島小学校をその部分でしっかりちょっと活用して頂いたりして、塩見校長先生にもそうい

うふうにお話も頂いてるので、子ども達、運動場とかもそうですし、学級園も秋に引き渡されて秋に種を植えても育たないよねという話も聞いたので、そういう自然であるとか子ども達の学習の中で不十分な部分は田島小学校跡も活用できるように。で、子ども達もちょっとほっとして遊べるような場所であったり、そうやって自分達がなんとなく育てるような活動もできるようによろしくお願いします。

(委員)

- ・他何かご意見ございますか。はい、お願いします。

(委員)

- ・ちょっと余談になるんですけど、その田島小学校の防護ネットを上へあげるというのはいつ頃になるんですか。なんでこんな事を聞かかというたらね、先般、田島中学校の野球部の生徒にある所で会うたら、「僕、野球してるねん」という事で、その話から入って行って、あまりこんな事言いたくないんですけど、「今度、中学を出たらどこいくねん。」と言うたら、興国しよる、興国の野球部入るねんと言うような、こんな話をいっぱい言うてましたわ。その事聞いてたら、この田島、今中学校のグラウンドで野球の練習も、打つ事、ノックもできなきゃ満足にできへんやろうなど。勝手にこんな事を想像して、「これはあかんやん」という事を田島小学校のこのネットを上へ上げるという事をして頂いて、早く普通の野球の練習のできるかなというような形にしてもらいたいなど、こうふっと思ったので、今、聞いておるわけですけども、田島小学校の防護ネットを上へ上げるという事は大体いつ頃になるんですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・今現在の予定では令和4年度に設計を行いまして、5年度の実施という事になっております。令和5年度に防球ネットが高くなる予定になってます。

(委員)

- ・とりあえずグラウンドさえあったらキャッチボールぐらいはできるやろうと、そう思いますけど。やはり打つ走る投げる、こういう事で野球に適したグラウンドが必要かなと勝手に思っておりますので、これはやはり野球しようかという事の子も沢山おるように思いますので、田島中学校に入ったらあんな広いグラウンドで野球できるなというような形が欲しいなど。これは私の願いでありまして、私も昭和40年頃にこの生野リトルリーグを始めてから、大体生野でその時で、要は野球も盛んで大体子どもが200人ぐらい入ってきましたわ。それでとりあえず海外遠征とか等々行って、一番成功したのは大阪でリトルリーグでプロへ行ったのが田尾ですわ。これは大阪中央から出でずば抜けて上手い選手でした。それが田尾やなという事で、そういう事で私も長年少年野球に関わってきましたので、とりあえず田島中学校からでも野球の上手な子が昭和の時代に沢山出てきてまして、そしてPL学園に行って、名前は忘れましたがキャプテンになって、その時にPLが全国大会で優勝をして甲子園出るという事になって、ここから観光バス、2台か3台チャーターして行った覚えがあります。そういう事で、勉強も大事、運動も大事、どっちも両立して頂いて、そういう形の学

校にしてほしいなど、これは私のお願いです。よろしく申し上げます。

(委員)

- ・はい、委員申し上げます。

(委員)

- ・今現在の新校舎の出来具合というか、この間、足場が外れて本体見えてきたんですけども、中がどうなっているのか、職員室とかは残るとい事なんですけど、教室はもう入れる状態になっているのか、普通こういう公共の建物やったら検査とかで1か月とか2か月かかるんですね。僕も工事に入る事があるんですけど。それが実際にこの4月で子ども達が全員入れるのか、というのは、保護者の方から多分4月には間に合えへんという事が結構聞こえてきているんです。それが本当なのか。かなり一生懸命、職人さんをどんどんどん入れて滅茶苦茶ペースを上げてやってくれてはるのは分かるんですけども、その辺、教室の方に子どもがもう入れる状態になっているのかというのを、ちょっと教えて頂きたいです。

(二川総務部施設整備課老朽対策担当課長代理)

- ・検査の関係については先週の17日、18日で建築指導部の検査とそれから消防検査、それから都市整備局の検査を18日実施して検査終了してます。本日、機械設備と電気設備の検査が行われてまして、先程言いましたように今、部分的には手直しとかが生じているという状況になってます。明日、学校の方の終業式を迎えるわけなんですけど、一応引っ越しの予定というのは学校さんの方から決められていまして、明後日の3月24日には引き渡しをしてほしいという事なので、3月24日に引き渡しをして、教室につきましては全て子どもさんが入れるように、今、これから家具類、机とか椅子等を搬入していくという事で、引っ越しをさせて頂くのがこの春休みの期間という事で、今、順次進めておりますので、子どもの収容につきましては十分ちゃんと入れるようにスペースを作ってくれています。

(委員)

- ・分かりました。以前、中学校のトイレを1つ工事をするだけで、夏休み前から工事着工して、結局出来上がったのが3月やというのもあったので、ちょっと心配なので聞かせて頂きました。

(委員)

- ・はい、ちょっと私の方から。先程委員からも話ありました。また委員からもありますし、実は私達も「ほんまに校舎できあがんのか。」って質問を受ける側なんですよね。こういった委員に出席していたり、元PTA会長をやっていたりとか、そういったものもありますので、聞かれる側なので、実は結構困るんですよね。曖昧でも何か伝えないと皆さん心配されたりとか、それは保護者もそうなんですけど、地域の方とかOB、OGの方もそういうふうにご心配。それだけ地域の方が学校にお心配りを頂いているという事なんですけど、そういった意味でこの4月開校という事なので、せめて何か始業式とかそういったタイミングで先程、仰られたような夏休みには芝生をととか、学習園はちょっとしばらく田島小学校を使うとか、職員室の工事、後のリフォ

ームをせなあかんとか。ネットはこの年度だと、5年度だとかね。プールを5年度に解体するとか、そういったのをちょっと1度、節目のタイミングで、保護者それから地域回覧板とかそういったもので回して頂きたいんですけど。多少ちょっと曖昧な所もありますけど、こうして議事録とかこういう音声を録って、公の意見として話をお互いに取り交わしてますんでね、そういった曖昧状態でも構わないので、そういったものを出してほしいんですけどそういったものって出せないんですかね。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・今でもこの検討会議の状況を一応ニュースという形で学校を通じて保護者の方、地域の方で回覧というのをお願いさせてもらってます。今、頂いている意見、今日の会議の結果。それとは別で出せる状況、状態になった段階で、そういうのを出せるように調整していきたいと思います。

(委員)

- ・できればこの節目が良いと思っているんですけど、また色々な専門家としての色々な事情とか行政上の事情は分かるんですけど、工程に関して、スケジュールに関して、もう一度再提出、それに絞ってもらっても構わないので。うちらも聞かれる側なので、もうそれが解りやすく地域、保護者にちょっと流してほしいんですけど。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・その方向で調整させていただきます。

(委員)

- ・ですので令和5年度までちょっと出して頂きたいなと思います。後もう1つありません。ちょっと話が途中になってしまったんですけど、今後の先程の環境部会は基本的には継続というか、この部会が継続なのかどうかにつきまして、先程、話があったと思うんですけど。私の要望としましては、進捗をまずは定期的にご報告を頂きたいなと思ってます。その中で環境部会に関しては、その設計段階になってますので、場合によっては臨時でもこういうふうな会議、もしくは環境部会に絞ってでも開催しなければならぬというふうな状況になりましたら、それはそれでまたこちらもご協力差し上げますので、そういうふうな開催も含めてちょっと一部続けて頂きたいなと思うんですけど、そういったのはいかがでしょうか。まずは定期的というか、要は場合によっては臨時開催もするというふうな所です。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。お報せできる段階になれば、この事を調整しながらお示しするような形で、ちょっと考えたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(委員)

- ・ちょっとね、疑ってるわけじゃないんですけど、やっぱり行政側としてはもう決まってから発表したいと思いはると思うんですけど、決まってない状況でも定期的に報告、途中段階とか何か審議が必要な事が場合によってはあつたりしますが、そういうのはどうしても決まってから、決まってからと。ずっとずっと連絡ないなと思っていたら、

ぱっと決まりましたというふうなのが、時々「えー！」と言って、「もっと意見できたのに」とか、そういうふうな反省と言ったらあれなんですけど。ちょっとした悔いもあったりするもので、そういった意味でちょっと言ってます。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・その辺も踏まえてで、はい。ちょっと検討させていただきます。

(委員)

・場合によっては、また次の話としてはそういった臨時開催。必要あればで、僕は良いと思うんですけど、何か審議しないといけない事があるようだったら、また集めて頂いても結構ですし、また違う形にしないといけないのであれば、それはそれで委員の会合の形をまたご提示頂いたら、こちらメンバー揃えますので。そういった開催についてはいかがでしょうか。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

・また教育委員会と調整させていただきます。勿論そういった場合は設定させて頂く時は、区役所の方からご連絡差し上げるという事でよろしくをお願いします。

(委員)

・分かりました。他に何かご意見等ございますでしょうか。

(委員)

・保護者の皆さんは、地域の方もですけど、学校始まるけど中々その全貌が見えない部分で、本当に始められるの、という意見が委員からもありましたが、あります。で、始まるけど自分の子どもの教室がどこなのかも知らないって。どこになるんですか。という事もよく言われたりして、詳しい教室開示等もまだ知らないで、出して頂きたいという事は校長先生にもちょっとお話させてもらいました。小学生には学校説明会がありましたが、中2、中3には全然そういう話も無い。1枚の紙も出てないのですが、工事を含めて今こういう場所がまだ工事が残るという事。そしてこういう学校になります。そして子どもの教室、ここここになって、特別教室、いきいきはここに行かないといけない。色んな事をもうちょっと解りやすく、見える字でちゃんと出して頂いて、学校行けと言って、通学路通って、学校までは行かすけど、果たして子どもがどこでどうするのかという事すら今見えないような状況もあります。で、工事もどうなってるんだろうって色々思われている。で、中2、中3の親とかは1枚の紙も出てないから、「結局小中一貫校ってなんなの？」と思ったりもしている。そういう状況のスタートやという事はご理解頂きたいですし、そういう不安というのは、「さあ始まるぞ！」というスタートの素敵な気持ちよりも、今ちょっとそうやって、大丈夫なのかなというようなスタートになっている部分は、やっぱりあるというのは解って頂いて、その辺をしっかりとできる範囲の、今分かっている範囲で良いし、決定している事は必ずで、しっかり伝えていってほしいなと思います。

(委員)

・はい。よろしくお願ひいたします。他ご意見ございませんでしょうか。それでは本日

のご意見が無いようですので、本日の会議については以上となります。事務局の方にお返しいたします。

【その他】

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・本日は貴重なご意見、ご質問頂きありがとうございました。本日で検討会議の方は終了とさせていただきます。委員様の任期の方も今年の3月31日までが任期という事になります。長い間ありがとうございました。それでは最後に区長の方からご挨拶の方をお願いいたします。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・皆さん、長時間の色々なご意見ありがとうございました。先程アナウンスがあった通り、令和4年3月31日をもちまして、一旦この田島中学校区学校適正配置検討会議として、皆様をお願いしていた委員の任期が終了という事にはなります。ただ今日ご意見を頂いたみたいに、またその枠組みであるとかを考えながら、どういった情報共有とか、また意見が出てきて反映されるタイミングでのこちらからの情報提供というのを、今日のご意見を色々頂いたとっておりますので、中でまたしっかり議論してまたお伝えを。決めてお伝えをしたいとっております。いずれにしても4月から新しい田島南小学校、そして田島南小中一貫校が開校いたします。学校というのはやっぱり生き物でして、普通に運営していても、1校だけで運営していても、日々色々な事が起きるんですけど、新しい学校だけに、やはりしっかり教育委員会と区役所も連携をして支えていきたいとっておりますし、また地域の皆様、保護者の皆様、そして学校の教職員の皆様も色々ご苦勞もおかけしますが、とにかく子ども達の成長の為に、新しい友達ができて賑やかになって、その中で起こる良い事も悪い事も、勿論色々不安も与えているとは思いますが、とにかく子ども達の成長に繋がりたいというふうに強い意志を持って思っております。皆様も本当に学校が無くなるというのは非常に辛い、地域にとっても辛い事だという事は重々解りながら、この何年にもかけて様々な形でご意見を頂き、ご批判を頂き、真摯に対応して頂きました事を本当にありがたく思っています。また学校はこれからですので引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。この検討会議につきましては一旦これでという事になりますので、ありがとうございました。

(委員)

- ・すいません。最後に。先程区長のお話の中にもあったと思いますが、勿論無くなるのは寂しいですし、新しい学校、不安もあるけど良い事が沢山あるように私達も支えていくし、これからはずっとそういうふうに思っていますが、この再編は本当に色々な所でこういう不安が残るような場面があったという事に対して、これからまたそういうふうに再編が進んでいく事もあるかもしれないですが、どうぞ、本当に色々な反省や色々な事を活かして頂きたいです。本当に無くなる事は寂しいとかそんな話だ

けじゃなくても、一步ずつ、果たしてこの検討会議って議論の場と仰いましたが、いつも私達は結果できませんという事を聞かされるだけの場やったなという部分も凄く多いです。こんなふうに変えれたら、こんなふうにできたらって、いっぱい思いはあったし、早く伝えて頂けたら、もっともっと色んな周知と言いますか、地域や保護者にもっともっと伝えられた事も、なんでこうならなかったんやろうという思いもいっぱいあります。そういう事を反省したり検討したり、そういう中でこれからしっかり、学校再編みたいな事が、またこうやって色んなしんどい思いを活かされなかったというのが一番辛いので、これからそういう再検討と言いますか、そうやって一度その振り返りみたいなものを学校できた、はい終わりではないので、それを本当にお願ひしたいです。良い部分は勿論良いですけど、でもそうならなかった部分で、何が一体あったんやろうという振り返りをどうぞ、これから持って頂きたいです。

(上原学校環境整備担当部長兼生野区役所こども未来担当部長)

- ・ すいません。少しだけ。教育委員会の学校環境整備担当部長の上原と申します。ちょっと座ってお話させてもらいますけど、委員からも今、貴重なご意見を頂きまして、この会議の場でこの間色んな事についてご議論頂いて、通学路の対策を始め、実施可能な所についてはできるだけ我々も尽力をしてきたつもりでございます。
- ・ 田島小学校の今後の第2校地としての整備についても、今の所、完全に案が練りあがったわけじゃないですけど、プールを解体をして、ネットを高くしてというような事もこの場でご意見を頂いて、我々それを今後の行政の案に反映をさせて頂いてます。もう1つ申し上げれば、ここの芝生、サブグラウンドの芝生についてもご意見を頂いて、そういう望ましい環境という事で頂いたので、こういった形でちょっと学校の使い勝手の部分では制約出ますけど。後もう1つ加えて申し上げますと、田島小学校の校舎部分も教育委員会が通常管理するのであれば、あくまで暫定的な管理なので、常々ガスを開けていたら危ないし、というような事で管理を切ってしまうんですけど、この場でご意見を頂いて、暫定的ではあるにせよ我々が管理する間は一定きちり動かさせてもらおうという事で。ちょっとそこはすいません。委員。皆さんから頂いた意見、全部はお聞きはできてないかもしれませんが、この中で頂いたご意見のうち、我々ができる部分については、一定の思いを持ってさせて頂いてきたという事だけは、我々からも申し上げたいなと思いますので。ただ反省すべき点は色々あったと思います。今後活かしてというご意見は正にその通りだと思いますので、我々はその辺はしっかり受け止めて今後も取組をしっかり進めていけたらなというふうに思っております。以上です。

(委員)

- ・ すみません。色々努力して頂いた部分と、後、区役所の方々含め、本当に色んな事を1つずつ必死でやって頂いたという事に対しては頭が下がる思いしかありません。ありがとうございました。としか伝えられないんですけど、本当にありがとうございました。でも区役所の方も忙しく、色んな学校の再編を抱え、こんな忙しく沢山の再編をする必要があったのかなという部分でも、1つの学校にかかる労力がかけきれないみた

いな部分って凄く感じて、色んな事を含め、私はこの再編の進め方というのをもう一度振り返ってしっかりこれから1つずつ、私達にとったら沢山あるうちの1つと言われても、私達にとっては1つのかけがえのない学校が無くなるという話なので、精一杯やっけて頂いているのは、勿論承知なんですけど、でもやっぱり凄く沢山の抱えるようなやり方をした事も含めて、私は本当に良くなかったんちゃうかなという思いもあります。色んな事を1回本当に振り返りをしないと、ただただ良かったと言って進めるだけでは何事もそうですよね。しっかりそういう振り返りをしながら、そしてそれぞれできあがった学校はどんな学校になっていったのかという事をしっかり見ていってほしいなと思いますし、この再編の流れも進め方もしっかり振り返って頂きたいです。(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・ よろしいでしょうか。これまで色んな場面で生野区西部地域、12小を4小にするという計画を平成28年に出しましたが、それについて一遍にやる事は反対だというご意見というのを沢山これまでに頂いてまいりました。ただ我々沢山のいるからどこかを手を抜くとかというつもりは一切ありませんでして、そもそもその子ども達の教育環境、クラス替えできる環境、その為にとという思いでやっけてまいりました。
- ・ ただ仰られました通り、複数同時並行してやっけてますので、連絡の仕方とかその辺ちょっと行き届かない所があったかもしれません。ただ、これできたから終わりというわけではありませんでして、当然新しい学校、工事にまた一部続いていく場面があります。それ以外にも実際に新しい学校、子ども達を入れた状態でどうなって、子ども達がどういう状態なのか、学校の方で何か不都合、困っている事はないのかといった事。それにつきましては4月以降もこれは学校の方に話を伺う事になりますけど、きちり区役所として、我々教育委員会兼務という立場もありますので、学校の方の状況をお伺いしながらフォローアップできる体制を取ってやっけていこうと思っけてますので、また引き続きご協力頂けたらと思いますのでよろしくお願い致します。

(委員)

- ・ はい、それをこれからもお願いします。区長、すいません。本当にじゃあ、それを振り返りしますって、一言言っけて頂きたいんです。色んな再編に関わった学校の人達にしっかり聞き取りもして、どういう部分が難しかった、どういう事がこうしてほしかったという思いとかそういうのもちゃんと聞き取っけて頂きたいという事なので、そうやったらそういうふうになんて考えていきますというような答えが聞きたいんですけども、中々なんともずっとなんて言っけて頂けない思いがあるんですけど、どうでしょうか。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・ この5年間、最初に計画を預かった時から、進め方はやっぱり途中で、例えば桃谷中学校を先にやっけるとか、色んなそのプロセスの中にも話し合いの場の持ち方であるとか、日々振り返り、日々改善みたいな所は努力はしてきたんです。また大卒のその計画の作り方、それこそ振り返るならば、私の前の任期の人からの部分も含めて、当然振り返りというのは大事ですし、実際関わった方、議論に関わっけて頂いた方、色んな方の例えばこういうタイミングでもっと情報が欲しかったというのは、日々こうい

った会議の場で仰って頂いている部分は、しっかりまたそれが繰り返されないようにという事はちゃんとやっていきたいと思っておりますし、後、上手く言えないんですけど、この西部地域の学校を再編整備計画そのものの、大枠みたいな所が決まっていた所で、もう既に議論があって、やっぱり子ども達が卒業してしまうという中で色々な時間的な所があって、その時間の考え方というの、今後また大阪市全体での再編が進んでいく中で、また考えていかないといけないだろうなというのは、色んな面で振り返りはしっかりやっていきますし、同じような思いをされる方が。全員は無くならないと思うんです。何やってもどうしても再編って色んな思いがある方がいらっしゃって、一方で本当に早くしてやれって、いつ決まるねん、何回こういう会議して、何も決まらへんかったら怒られたりもする場面もあったり、本当に色んな考えの方がいらっしゃいますので、そういった声を集約して振り返って、また再編後のアンケートというものもあります。それは保護者の方、そして教職員、子ども達にするんですけど、実際、大池小学校とかの分とかも、もう貰ってるんですけど、そういった中でたった1人の声でも、なんかこういう所で新しい学校で困るとか、そういう声があればまた真摯に対応していきたいとも思っています。ですから振り返りは色んな形でさせて頂きたいと思っています。以上です。

(委員)

- ・よろしく申し上げます。

(委員)

- ・それじゃちょっとざっくりとお話でも恐縮なんですけど、まあ答え今出ないですよ、正直言うと。これが良かったのか悪かったのか、というのは町の活性化も含めて、また学校環境も含めて。今、直ちに答えが欲しいわけじゃないんですけど、僕等も意見を色々吸い上げて頂いて、活かして頂いた所、達成できなかった所とかもありまして、ただ意見を吸い上げて頂いた所って、やっぱり僕も意見を言ったからには責任感が。もしあれが失敗だったらなんて言ったら、俺、怒られるんだろうなと思いがらね、こうやって意見を言うんですけど。それはそれで言った事が良かったのか悪かったのかというのは、5年10年後にまた出てくると思いますので、そこら辺、学校再編という、開校してしまえばもうおしまいとか、行政的にもう予算を使ったからもうおしまいとか、そうではなくて、やっぱり5年10年後にそういうふうな、何か町はどうなったのかとか、学校はどのようにどういう卒業生が生み出せたのかとか、そういったスパンでざっくりちょっとまた評価してほしいなというのもあります。そこは多少僕等も甘んじて受けなあかんとは思ってるんですけど、行政としては色々入れ替わりありますので、それぞれ担当が変わってしまう。それっきりになると思うんですけど、なんかちょっと5年10年後また一度精査して頂きたいなというふうに思います。

(竹中生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・それでは今日の会議を終わります。どうも皆様ありがとうございました。

7 会議資料

- ・報告資料 1 田島中学校区の通学路の安全対策について
- ・別紙 小学校区ごとの通学路の安全対策
- ・その他 田島小学校のガス式空調、エレベーターの管理について